

Special Interview

～ SORA コーチスペシャルインタビュー～

大西 雄一朗



×

ファイナンシャルプランナー



「競技者×コーチ」だけじゃない。
お金と運動の両面を「デザイン」する。

陸上競技に出会うまで

私は豊田小学校出身で、小学生時代は1～6年まで少林寺拳法を、6年生の時にはサッカーをしていました。かけつこのタイムで言えば、小学校4年生の100mで19秒9だったという事はなんとなく覚えています。こちらは冴えない感じではありましたが、ソフトボール投げでは45mを投げて皆より少し得意だったのを覚えていますが、どの種目も特に大きな成果を残しておらず、いわゆる「普通」のレベルでした。中学時代は、三豊中学校で野球部へ所属し、5番、ファースト。カーブは打てないが（笑）、ストレートは任せろというような選手でした。



卒業後は野村証券に就職し、富裕層向けにお金（資産運用）のコンサルティングを、その後、ソニー生命に転職し、個人や法人の生命保険のコンサルティングを行っていました。完全歩合での仕事をだつたため、自分の力を試してみたかったというのが大きな理由です。しかし、対応できる保険の種類を増やしていく思いから、2年前にコア・ライフプランニングへ転職をして現在に至ります。もちろん、競技の方も自身の可能性に挑戦し続けています。仕事との

自身のキャリアを SORAに還元したい

これまで、昼間の時間は「お金のプロ」として、10年近くお客様と一緒にやってきました。その中で自信を持つて言えることは、個人でも20～30年先を見越した資産形成を行う事ができれば、結果として20000～3000万円くらいの差が出てくるという事です。

とても多い数字で理解し難い部分はあると思いますが、長期的な運用という条件で、現実としてそのような堅実な投資も存在します。だからこそ今の仕事にやりがいがあります。



*写真左側

仕事と競技の考え方

両立は難しい部分はありますが、私の業種は人とのご縁でこそ成り立つもの。競技者としての私（の体型）が話のキッカケになることもよくあります（笑）。現在は年齢もあつて怪我との付き合いが常になっていますが、目指す70mスローへの挑戦は、まだまだ諦めるつもりはありません。指導に関しても、SORAコーチになる前から県内中高生へのやり投げの指導を行っていました。関わった全てのやり投げ選手が大幅に自己ベストを更新して、インターハイや国体、その先にある大学へのスポーツ推薦入学の権利も得る事ができ、指導へのやりがいも強く実感しています。

ご相談いただければ、結果的にSORA会費を貯つてあまりあるような資産運用のご提案ができるのではないかと考えています。これもSORAの一つの価値として、皆様に喜んでもらえるような環境づくりに取り組んでいきたいと思います。